

月刊 社会保険 3

2018 VOL.812

一般社団法人
全国社会保険協会連合会



平成30年度都道府県単位保険料率の決定について

協会けんぽの平成30年度介護保険料率について

平成30年度介護報酬改定の概要

平成30年度診療報酬改定の概要

平成30年度の年金額改定についてお知らせします。～年金額は昨年度から据え置き～

平成30年度都道府県単位保険料率の決定について	4
協会けんぽの平成30年度介護保険料率について	5
平成30年度介護報酬改定の概要	7
平成30年度診療報酬改定の概要	10
平成30年度の年金額改定についてお知らせします。～年金額は昨年度から据え置き～	14
年金・健康保険委員活動報告 社会保険委員活動を通じて 株式会社米沢食肉公社常務取締役 佐藤 康寛	18
あの人 この人 私たち 第11回 湯たんぽは素晴らしい発明品 エッセイスト 藤川 鉄馬	20
書評 井上 智洋著『人工知能と経済の未来—2030年雇用大崩壊』	23
損をしたくない人が損をしがちな心理学 第11回 「タダより高いものはない!」本当の理由 経済コラムニスト 大江 英樹	24
自分らしく生きる社会とは 第17回 ベビーカーにやさしいまちづくりをめざして 〈Happy Baby Car Life〉 一般社団法人ベビーカーの利用環境づくり推進協議会事務局長 窪田 都	26
しなやかなからだづくり 第11回 高齢期の睡眠と認知機能 お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30 / 年金保険編 32 / 介護保険編 34 / 労働保険編 36 特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ	

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土、寒河江智果/デザイン・STデザイン、(有)フェイム/編集協力・(株)アップルハウス/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のことば —— 竹内敏信 「光の響」^{せんにりゅう}「潜竜ヶ滝」

長崎県佐世保市



ここ潜竜ヶ滝は、かなりめずらしい滝である。それは滝のまわりにツバキの花が咲いている。ツバキとサザンカの見分け方などでは、花の散り方で判断する場合がある。サザンカは、花びらがバラバラで散っていく。そしてツバキは、写真のように花ごと散る。どちらも優^{はかな}く美しい。その優^{はかな}さを滝と一緒に見られるのは、潜竜ヶ滝のよさといっていいたいだろう。

緑美しい苔の上に落ちるツバキの花。まさに日本を象徴する風景である。場所としては比較的いきやすい。そのため観光スポットにもなっている。それゆえ表現が難しくなる。とはいっても滝の美しさが変わることはない。

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。

社会保険委員活動を通じて



株式会社米沢食肉公社常務取締役
佐藤 康寛

●地域の紹介
私たち置賜地区社会保険委員会は、山形県南部の米沢市、南陽市、長井市、高島町、川西町、白鷹町、飯豊町、小国町の3市5町の地域で構成されている委員会です。

私たちの住んでいる、置賜地区（米沢盆地）について紹介します。置賜地区は、四方を朝日連峰、飯豊連峰、吾妻連峰、蔵王連峰に囲まれ、中央には日本3大急流のひとつである最上川が流れ、またその源流となっており、夏は暑く、冬は1m以上の雪が積もり、寒暖の差が激しい四季折々の風情に富んだ自然豊かな地域であります。

地域の特産品は、なんといっても圧倒的に「米沢牛」です。米沢牛は、黒毛和種の雌で、米沢牛銘柄推進協議会で認定された農場で32カ月齢以上まで肥育しなければなりません。一般的な銘柄牛に比べ3カ月以上も肥育期間を長く設定しており、銘柄牛の中でも最も厳しい飼養条件となっております。

このことにより、雌のきめの細かさや黒毛和種の味が最大限に生かされた味わい深さが特徴です。また、米沢牛は昨年3月農林水産省による地理的表示「GI」を取得し、地域産品として確たる位置づけにな

っています。

そのほか、お米「つや姫」「コシヒカリ」等のもとより、春のサクランボから夏のスイカ、ぶどう、そして秋のりんご、ラフランスなど四季を通じて多くのくだものを産する地域です。

さらには、地域内には17軒の酒蔵があり、それぞれにこだわった非常においしいお酒を造って提供しています。また、縮れ細麺の米沢ラーメンをはじめ麺類のレベルも高く、日本そばの人気店も数多くあります。この地域は食文化の宝庫といっても過言ではありません。

平成29年11月より米沢市福島大笹生間が高速無料化となり、所要時間が30分ほど短縮され、福島県のみならず仙台市や宮城県内各地からも積極的に足を運んでいただけるようになりました。

お立ち寄りをお待ちしています。

●会社の紹介

私の勤務する会社は、昭和39年8月地域における畜産振興、食肉流通の拠点として設立しました。

米沢市食肉センターの指定管理者として、食肉処理業務から米沢牛枝肉セリ市場の運営、牛・豚枝肉、部分肉の処理販売「米沢牛」「米沢食肉



高度食肉加工品（ハム・ソーセージ）

米沢牛

公社推奨豚」の販売を担っています。また、これに加え、高度食肉加工品（ハム・ソーセージ）の製造販売を行っています。全国の食肉センターの中でも、食肉加工品まで手がけているところは少ないです。

当社の特徴は、なんといっても「米沢牛」であり、その発信地でもあります。米沢牛は年間3000頭の出荷頭数しかなく、銘柄牛としても出

荷頭数が少ないです。しかしながら、肉質の最上級である5等級が出荷頭数の6割を占め、最高位で品質のよさを誇っています。

今後は、米沢牛の飼養期間が長いことにより海外へ輸出できる国にも制約がありますが、逆にその利点、品質のよさを世界に発信しながら、この地域に足を運んでいただいで賞味いただけるよう努力していきたいと思っています。

●社会保険委員の活動

山形県社会保険委員会は、大きく5つの地区（山形地区、寒河江地区、庄内地区、最上地区、置賜地区）からなり、連合会となっております。

私たちの置賜地区社会保険委員会は、さらに米沢支部、長井支部、南陽支部の3つの支部から成り立っており、地区の活動は各支部の役員で構成する評議員会を主体に社会保険に関わる啓蒙活動や委員間の情報、意見交換の場として積極的に活動しています。「ノミニュネーション」の場でもあります。

平成28年には、地区の活動として10年ぶりに仙台・石巻方面に研修旅行を実施しました。石巻社会保険委員会の方にも大変お世話になり、非常に有意義な研修でした。費用の関

係で毎年は無理としても、今後隔年で企画できればと思っています。

支部の活動は、総会・研修会と健康づくり研修会です。健康づくり研修会では、支部ごとにいろいろな趣向を凝らし実施していますが、なかなか新しい研修内容が見つからないのが現状です。各支部にも特色があり、ノミニュネーション主体が2支部、女性大多数で昼食会がメインである1支部もあります。

●今後の委員会活動

私たち社会保険委員の仕事は、業種は異なるけれども基本的な職務内容はほぼ同じであり、ある意味では同士であると思っています。

年金や健康保険に係る事務手続や社員の働きやすい環境づくり、さらには企業の中核として舵取りなど、同業種ではなかなか相談しにくいことでも、会社や社員を思う気持ちは同じものがあるのではないのでしょうか。

近年は、労務管理やコンプライアンスの問題が、大きく取りざたされています。特に中小企業では、相談相手を見つけないはなかなか難しいものがありますが、社会保険委員の中にはいろいろな情報を集め、改善策を実施してきた方々も多くいらっ

しゃるのではと
思います。

是非、ご相談してみても！

最近では、新規の社会保険委員の加入が難しくな

つてきています。山形県社会保険協会の手助けをいただいても、新規委員の加入はな

いに等しい状況です。次の世代に引き継ぐためにも、社会保険委員の全体としての課題として取り組み時期にきてい

るのではないのでしょうか。加入してよかったです魅力的な委員会活動を目指して！
最後になりましたが、全国の社会保険委員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念しますとともに、関係各位のご隆盛と各企業



株式会社米沢食肉公社

のご繁栄を期し結びといたします。
（山形県社会保険委員会連合会副会長 置賜地区社会保険委員会会長）